

サークル紹介

久喜吹き矢クラブ



久喜吹き矢クラブは、平成22年4月に発足し、現在の会員は20名です。  
 会員の相互理解の基に年間計画を策定し、毎月4回(午前)定期練習を行っています。  
 始めに準備体操として、筒を使用してスボーツ吹き矢独特の呼吸体操を行い、続いて公認用具(筒・矢・的)を使用し基本動作に従って集中し練習を行います。  
 親睦大会が年1回、初心者教室等も実施しています。会場は主に久喜市東公民館です。  
 休憩時間にはとても楽しい会話が飛び交っています。なお、中央公民館事業「楽しい健康吹き矢教室」、久喜市放課後子ども教室「くさつ子ゆうゆうプラザ」等に協力し、限られた時間を大切に過ごしています。  
 指導者は公認指導員、間々田耕三先生です。最近では誰でも気軽に、年齢・性別を問わず楽しく始められるスポーツ吹き矢の人気の急上昇中です。  
 まずは気軽に体験してみませんか。

代表 菱沼 恒夫  
 0480-21-3551  
 場所 主に久喜市東公民館  
 活動日 木または金曜日(月4回)10時~

森下ヨガサークル マリリーズ



代表 齊藤 まり  
 ヨガインストラクター  
 090-8477-1790  
 場所 森下公民館  
 活動日 第2、第4月曜日(月2回)

ヨガは年齢、性別、体の硬さ、運動歴など全く関係なく、どなたにでも楽しんで頂ける健康法です。無理をしないで動かせる範囲、また動かせる所だけを動かしても効果は期待出来ます。  
 もっと体力をつけたい、肩凝り、腰痛、膝痛などを改善したい、病気を改善したい、ストレスを解消したい、痩せたい、etc  
 皆さんそれぞれの目的でどうぞ気軽にレッスンに参加してみたい。年齢も様々なメンバーが、楽しみながらやっているので、初めての方でも違和感なく入れますよ！  
 レッスンには、月2回ですが1回だけの参加も可能です。  
 ヨガを生活の中に取り入れて、ますます楽しく元気な毎日になってみませんか！



久喜市生涯学習だより

令和2年1月1日 発行

第19号

編集：久喜市生涯学習推進部  
 発行：久喜市教育委員会

まなびすと久喜

「今、先生から学ぶべきものは何かと己の胸に問いかける時、その答えは直ちに返ってきません。それは、男性・女性という性別を超えた生きる人間としての心の暖かさ、誠実さ、純粋さであり、そしてまた、芸術の世界に身を置く者としてたゆまぬ努力と精進という答えであります。先生は、限らない努力により自分を育てながら、同時に他人をも育てるという母性的な能力を豊かにお持ちでした。これはまさに、生まれながらの美德と申してもよいでしょう。」  
 これは、平成10年の3月、85年の生涯を終えた私の義母、濱梨花枝に奉げられた詩人の宮澤章二先生の弔辞の一部である。  
 歌人濱梨花枝は、大正元年にさきたま古墳群のほとり埼玉村に生を受け、19歳の時、久喜の榎本善兵衛(後の久喜市長)と結婚し、私はその次男の嫁である。昭和15年恩師池田亀鑑の紹介により歌人と謝野晶子入門。晶子最後の弟子となった義母は、「明星」のロマンチズムの伝統を今に伝える数少ない女流歌人と言われている。  
 昭和41年に歌誌「青遠」を創刊し主宰となり、中央歌壇での活躍が囁きされていたが「私は地域の人のために生きる」と、市井の人々にしか持ちえない感性を愛した。  
 昭和46年、久喜市制施行を記念して「久喜音頭」を作詞、その音頭は今も多くの市民に歌われ踊られている。その後、本町小学校、青毛小学校、久喜東中学校、浦和東高等学校の校歌を作詞している。「青遠」創刊後は、県立図書館の誘致に尽力、久喜総合文化会館建設に力を注いだ。  
 義母は幾度となく「人は、生まれ落ちたその時から、死ぬその時まで成長するものなのよ」と私に語り掛けてくれた。この言葉は私の生涯を決めた。失敗に打ちひしがれていても、明日の自分は少しだけ成長しているのではないかと前向きな姿勢を取り戻すことができる。そう、義母はたゆまない努力と精進によって自分を育てながら、この私も育ててくれたのだ。真の教育者は私の傍らにいてくれた。

濱梨花枝に思う



久喜市男女共同参画審議会  
 会長 榎本 恭子

久喜市内学校紹介

- ★所在地 久喜市葛梅113番地
- ★電話 0480(58)1006
- ★創立 明治6年(1873)10月13日
- ★校長名 門井 五雄
- ★児童数 290名(10月1日現在)
- ★学級数 14学級  
(特別支援学級2学級を含む)
- ★学校教育目標  
 ○まなぶ子「自ら学び続ける子」  
 ○やさしい子「思いやりのある子」  
 ○元気な子「最後までやり抜く子」



鷺宮小学校は、明治6年に開校した伝統校です。目指す学校像を「伝統・挑戦・笑顔あふれる学校」とし、学校・家庭・地域が一体となった教育活動を展開しています。教室や校庭には、元気いっぱいいな鷺の子たちの姿と歓声が満ち溢れています。  
 今年度は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた算数科の授業の研究を進めています。

久喜市立鷺宮小学校



★所在地 久喜市北青柳40-1  
 ★電話 0480(21)0571  
 ★創立 明治5年(1872)12月12日  
 ★校長名 石川 光里  
 ★児童数 176名(10月1日現在)  
 ★学級数 8学級  
 ★学校教育目標  
 児童が生き生きと活動し、保護者・地域から信頼される学校  
 ○よく考える子ども  
 ○仲よくいたわり合う子ども  
 ○健康で明るい子ども

本校は、今年百四十七年目を迎える歴史と伝統のある学校です。指導の基本は、「認め」「励まし」「高める」たくましく心豊かに未来を生きる児童の育成を目指しています。学校運営協議会を核にして保護者や地域の方々のあたたかな支援をいただき、子どもたちは礼儀正しく明るく元気に学校生活を送っています。カイツカイブキのトトロも子どもたちを見守っています。

久喜市立江面第一小学校

第10回生涯学習推進大会  
**まなびすと久喜**  
 令和2年2月1日(土)・2日(日)  
 会場 鷺宮西コミュニティセンター&鷺宮体育センター

大会テーマ **学びでつながる 愛するわが街 仲間たち**

**1日目**  
 2月1日(土) 午後1時~午後4時

- 開会式
- まちづくりフォーラム
- 1部 基調講演  
 小松智子 氏：女子栄養大学非常勤講師
- 2部 パネルディスカッション  
 パネラー ・不破康史 氏 ・寺方克彦 氏  
 ・若林福成 氏 ・中村涼輔 氏  
 コーディネーター  
 ・生涯学習推進部副委員長 影山悦夫

**2日目**  
 2月2日(日) 午前10時~午後3時30分

- 市民サークル演技発表会
- 文化サークル活動紹介と体験コーナー
- ゆうゆうプラザ活動風景展示
- スポーツ体験コーナー
- 喫茶、軽食コーナー

来て! 見て! 楽しんで!  
**ご来場をお待ちしています!**

久喜市高齢者大学を紹介します!



高齢者に対し、実際の生活に即した教養の向上を図り、趣味活動や社会参加による生きがいを高めることを目的とした4年制の大学です。



高齢者大学 高橋達也先生・神田耕一郎先生の話

○大学の内容

大学の教育課程は、「教養・健康・学校行事」の学習領域と自主活動で編成されています。

○学習領域

- (1)教養を高めるための学習
(2)健康に関する講座
(3)学校行事(新入生歓迎グラウンドゴルフ大会、音楽芸能祭、現地研修や修学旅行、体育祭・作品展示会、発表会等)

○自主活動

- (1)クラブ活動...同好の者が集まり、活動を通して自己実現を図り、多種多様なクラブがあります。
(2)ボランティア活動...環境浄化、福祉活動、教育支援活動、地域活動等

○在校生の推移と年代層

学生数は年々減少傾向にあり、社会情勢の影響を感じています。平均年齢は70歳。

○在校生の様子や卒業後の様子

入学当初は学級活動や学校行事等により多忙感が強くあるようですが、上級生になるに連れて、学級の団結が強くなり、高生として楽しめるようになっていきます。主体性をもって過ごす姿は若々しく輝いています。

ある日の新聞記事に、Aさんは現役時代、家と会社を往復するだけの会社人間。子ども達の学校行事にも行ったことがなく、子育ては妻に任せっきり。定年が近づいたときに、奥さんから「地域のために何かしたら」と言われ、まずは登校時の児童の見守りから始め、次第に顔見知りが増えていった。...今が、人生で一番輝いている、というものでした。

人生100年時代、健康で豊かに楽しく過ごすことは最大の願いです。初めの一步を高齢者大学、市民大学で踏み出し、色々の方と触れ合い、新しい自分との出会いを楽しんで人生を謳歌しようではありませんか。

皆さんの入学をお待ちしています。

応募問合せ 生涯学習課 ☎0430(22)5555 内線364

\*市のホームページやパンフレットでもご覧いただけます。

久喜市市民大学を紹介します!



市民の生涯学習活動・基礎講座・一般講座(まなびすと講座)を重点的に編成し、特に生涯学習のリーダーの育成を目的とした2年制の大学で体験学習が多く設定してあります。



市民大学 坪井文夫先生の話

○大学の内容

- 講座:「基礎講座」...久喜市の基礎的知識(歴史・教育・文化・風土・行政など)
「教養講座」...専門的な教養講座(政治・経済・福祉・教育・文学など)
「まなびすと講座(一般講座)」...生涯学習活動・ボランティア活動の推進者としての実践力を身につける講座です。
「特別講座」...学長講話、副学長講話、講演会
「特別活動」...体験発表会、視察研修、現地研修会などがあります。

○在校生の推移と年代層

設立当初の入学者数は30名台が続いたが、その後20名台となり、増減を経て最近10名台を推移しています。年齢層は、40歳代~50歳代が中心だったものが、現在は60歳代~70歳代の学生が多くなっています。

○在校生の様子や卒業後の様子

学級委員長を中心にまとまりをもって、熱心に講座や活動に取り組んでいます。2年生になると自信と自覚をもって主体的な活動が見られます。卒業後は、社会教育委員、生涯学習推進会議委員、生涯学習推進部委員などの各種行政委員や地域のリーダーとして活躍しています。市民まつりや放課後子ども教室「ゆうゆうプラザ」や観光ボランティアなど各種ボランティアや各種サークル活動などで活躍しています。

○4年生(男性)

退職後の過ごし方を模索中に、広報で高大を知りました。4年間で久喜市や地域の歴史・偉人等について学べること、健康や食生活等身近なテーマも多いこと、現地研修で興味深い場所や施設を訪れること等が決め手になり、入学を決めました。授業や現地研修では、期待以上の学習ができました。

たくさんの仲間と出会い大学祭でのクラス一丸での取組やボランティア活動での協力、クラブ活動等学習以外での顔合せも多く、楽しい充実した日々を過ごせました。卒業後は、地域活動へも参加、クラブ活動などを続行して、仲間との集まりを継続し充実した生きがいのある人生を歩みたいと思います。

★グラウンドゴルフ大会★



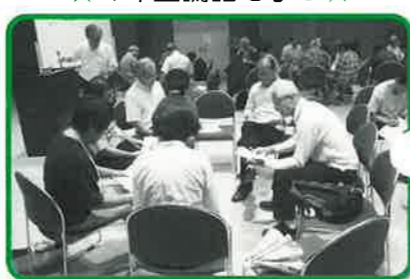
○4年生(女性)

10年6か月勤めたパート職を退き、2か月ほどボートとしていました。これではイカンと思っていたところ、以前知り合いの方が「高大はいいよ、楽しいよ」と言っていたことを思い出しました。「よしっ、ひきこもりにならないように人と接していかなければダメになる」と奮起し高大に入学しました。

楽しいです!久喜の事、偉人の事などを学び、色々な事を経験してきた人達との話や料理、グラウンドゴルフ、カラオケ、民謡、ウォーキングなどをして今まで経験した事がないような楽しい日々を過ごしています。

高大を卒業しても定期的にクラスメートと会って交流を深めていけたらと思っています。アットという間の4年間です。

★4年生論語を学ぶ★



○2年生(男性)

市民大学入学の動機は、久喜市の歴史・文化を学びたいと思ったことです。久喜・栗橋・鷲宮・菖蒲の神社仏閣について勉強出来、久喜市が更に身近に感じられるようになりました。また、各行事に参加するなかで、特に、まなびすと久喜、市民まつり等のボランティア活動を体験したことが良かったと思っています。卒業後は、ボランティア活動に積極的に参加し、地域コミュニティづくりに貢献したいと考えています。

★ワークショップ研修★



○1年生(女性)

久喜市に越してきたばかりで、久喜市のことについてもっと知りたいと考え入学し、久喜市の文化や教育、歴史などを学ぶことができました。市民まつりやまなびすと久喜にボランティアとして活動が出来たこと、同期の方々と知り合いになれたことがよかったです。卒業後は、高齢者大学に入学してサークル活動に参加し、また市民大学で学んだことを生かし、地域への何らかの貢献をしていきたいと考えています。

★利根川東遷現地研修会★



在校生の話

在校生の話

卒業生の話

卒業生の話

○塚田静夫さん

16年前、株主総会を最後に退職し、自由で楽しき第二の人生をと夢を見ていましたが現実はそのようではありませんでした。それは、熱中し充実した日々が送れなかったからです。そんな時「広報くき」に、市大・高大への募集案内の記事を見て応募し、入学しました。学習や行事を通して大勢の仲間と触れ合い大きな刺激を受け、やり甲斐が出てきました。

クラブ活動は、同好の志と書道部を立ち上げ、師範に挑戦するなど居場所ができました。一番の財産は、共通の多くの仲間が出来た事です。現在は、高大校友会の会長として、また「いきいきサロン」を立ち上げる等ボランティア活動を通して、現役時代では見えなかった世界で、忙しく緊張と満足の日々を送れる自分探しが出来ました。人生100年時代、久喜市の誇れる宝物として周知し、市大・高大の存在を更に高めるために、組織的な活動をしていきたいと思っています。

○岩間直美さん

私が市民大学に入学したきっかけは、仕事を通しての知人の紹介でした。当時、浦和・春日部の仕事場と自宅を往復するだけの生活で、久喜のことは何も分かりませんでした。

市大生となり一から久喜市について学ぶことが出来たことは大変有意義でした。そして、何よりも大きな収穫は、同期は勿論数多くの知己を得たことです。人生経験豊富な素晴らしい方々との出会いは、私にとって大きな財産となりました。更に、市大で広がったネットワークからゆうゆうプラザへの参画や地域活動等現在につながる活動の場を与えていただきました。

久喜のことを何も知らなかった私が、市民大学を通して数多くの出会いの下、私自身の可能性を広げていただいたなと感謝しています。